

はじめに

「え！洗った後、アイロンがけは必要ないのですか？」

「学生服にアイロンがけは必要ないですよ。」

これは、あるお客様との会話の一部です。

なんの知識もないままに、兄の学生服を購入してしまい、しわになりやすい素材の学生服を選んでしまったので、このお客様は学生服を洗うたびにアイロンがけをしていたようです。

一見どこがどのように違うのか良く分からないのが学生服の特質で、特

に男子学生服の場合は全体が真っ黒で、見分けが付きにくい服といえます。

男子学生服は、一つのメーカーでも作っている学生服の種類は何種類もあります。(十種類近く作っているメーカーもあります)

そしてメーカー数も多くありますので、知識のないままに買ってしまうと、「丈夫で着やすい」というようなイメージとはかけ離れた学生服を購入してしまう可能性があります。

学生服の種類の数とともに、それに比例して値段もピンからきりまであるのも男子学生服のもう一つの特徴です。

この冊子は、男子学生服の、素材、機能性、値段、小売店のさまざま
なサービスなどを、これから学生服をご購入される方の視点で書かせてい
ただきました。

私は、今まで積み重ねてきた経験や、学生服業界の裏表などを含め、
さまざまな情報を読者の方にお伝えしていき、親御さんが、納得のいく学
生服を選んでいただけるようにと望んでおります。

たかが学生服、されど学生服です。

この冊子を読み終えたとき、あなた様は、きっと今まで知りえなかった
世界を知ることが出来るでしょう。

そして、子供さんの為に納得できる学生服を購入することができるよ

うな知識を身につけていることと思います。

この冊子の内容でお伝えしたことが、少しでもあなたさまのお役に立つ事が、私の使命であり、喜びでもあります。

納得のいく学生服を購入するという事は、まずは正しい情報を手に入れることからはじまります。

それではどうぞ、ゆっくりとご覧下さい。

あなたの為の 学生服アドバイザー

有田 仁志

第一章 基本編一…男子学生服の種類と販売店

「男の子の学生服はどこで買っても同じじゃないの？」

この言葉があなたさまの気持と一致していたら、危険信号です。

色々な相違点がありますので、次からの情報をしっかりとお読み下さい。

この章では、お店を選ぶポイントについて説明いたします。

お店を選ぶポイントは大きく分けて二つあります。

- 一、どんなメーカーの学生服を取り扱っているか？
- 二、今までに購入したお客様の反応はどのようなか？

三、アフターサービスの質はどうか？

大きく分けるとこの三点に絞られます。

それでは、一つ目から説明していきます。

日本には学生服のメーカーは、大小合わせると、かなりの数があります。中でも全体の七〇%前後のシェアを占めているのが四社のメーカーといわれている所です。

- 一・ 尾崎商事〔カン〕ト学生服
- 二・ 明石被服〔富士〕ト学生服
- 三・ テイ〔カ〕ト学生服
- 四・ 滝本〔ス〕ルタイガー学生服



この四つのメーカーが大手の四大メーカーと言われ日本のかなりのシェアを占めています。

地域によって、これらの四大メーカーが独占している所や、その他の小さなメーカーが頑張っている所もあり、場所によって温度差があるようです。

どの学生服メーカーも主力商品の他に、多くの種類を取り扱っていますので、それが男子学生服の種類がかなり多くなっている原因にもなっています。

各小売店では、一つのメーカーの中の数種類だけを取り扱っている所が多く、購入店を決めることが、購入する学生服のメーカーもある程度決まってくるということになります。

中学校のように義務教育の男子学生服の場合は、六頁左下のマーク【標準学生服】が付いている学生服をかうようにと学校側から指示があります。

これは、各小売店も承知しておりますので、それ以外の学生服を勧めることはほとんどありませんから、ご安心ください。

各メーカーの主力商品には、色々な特長があります。

たとえば

- 一 生地に入パーストレッチを採用している「カンゴ学生服」
 - 二 生地自体に形態安定を施してある「富士ヨット学生服」
- こんな感じでメーカーにより特長があるわけです。

ただし、同じメーカーでも表生地のウールの混紡率が変わるとその特長自体も変わってきますので、詳しくはお店の人に聞いてみましょう。

二つ目の、「お客様の評判」ですが、これが学生服を買うときの一番の基準にしている人がもっとも多いと思います。

お店を選ぶのには色々な判断基準があります。

- 一 勧誘方法(しつこい勧誘は行われていないか)
- 二 接客態度(お客様の立場を尊重してくれるか)
- 三 採寸時期(適切な時期に採寸してくれるか)
- 四 アフターサービス売りっぱなしではないか)

五 情報提供(適切な情報を提供してくれるか)

この辺は、資料からもある程度判断できますが、やはり以前学生服を買われた親御さんに聞かれた方が、信頼性がありますね。

あなたのご近所に以前買われた方がいたら是非聞いてみましょう。

次は三番目の「アフターサービス」を説明してみます。

一言にアフターサービスといっても色々とあります。

- 一 お直し(直しにかかる時間や、代替品があるか)
- 二 配達、集金(追加購入の場合は配達等のサービスがあるか)
- 三 情報発信(適切な情報を配信してくれているのか)

等さまざまなものがあります。

つまり売った後にどの程度気にかけてくれるかも重要なアフターサービスの一つといえます。

単にお直しはお任せくださいだけでは、あたりまえのサービスですからセールスポイントにはなりません。

（お直しにかかる時間も、お店によってかなり違います）
ほとんどのお店では、買った後に購入前のような接触をしてくる事はありません。

これは毎年新しいお客様を獲得しなければならぬというのが原因だと考えられます。

購入後に買う時と同じようなサービスをしてくれるのかという事も店を選ぶポイントといっても過言ではありません。

入学時一通り購入した後は、「夏服の購入」「消耗品等の追加購入」「ズボン丈等のお直し」「高校入学時の情報収集」等、何回かお店と関わる事が必ず待っています。

その時の対応等も、出来れば以前買った方に聞いてみるのが良いでしょう。

基本編二・・・学生服選びのポイント

ここでは学生服を選ぶポイントをいくつかあげてみます。
ポイントは

- 一 耐久性
- 二 肌触り
- 三 着易さ脱ぎやすさ
- 四 値段等 があります。

最近、特に重要視されているのが
一番目の**耐久性**です。

この耐久性を一目見て見極める
のは、ひじょうに難しいのですが



素人でもちよつとした所をつまんでみるだけで、ある程度判断が出来る
ところがあります。

前頁の学生服の写真の矢印の場所を親指と人差し指でつまんでみま
しよ。学生服によって生地の厚さの違いを感じ取る事ができます。

生地が薄く感じる学生服が片面芯地の可能性があり、安い学生服は、
見えない部分で手間を省いている傾向があります。

学生服の表生地の裏側に、芯地を片面にしか貼っていない学生服は、
両面に芯地が張ってある学生服に比べ耐久性が劣ります。

ここが唯一素人でも分かる場所です。耐久性に対してはここだけではあ
りませんが、両方の学生服を比べるとすぐに判断が出来ますので覚えてお

きましよう。

肌触りや、着やすさ、脱ぎやすさは、表生地や裏地の素材、縫製によって変わってきます。

肌触りはお店から送られてくる生地見本である程度は判断できますが、生地見本は生地が小さい為に、実際の学生服を見た方が分かりやすいと思います。（資料の中に生地見本がなかったら、店で確認いたしましょう）

それから、最も気になるのが学生服の値段ですね。

学生服の値段は、上下で二万円台前半から四万円台後半まで幅広くあります。

ウールの混紡率や、大きさA体(標準型)B体(肥満体型)によっても変わり、一般的には三万円台後半より四万円台前半の学生服を取り扱っているお店が多いようです。(地域により差があります)

ただ学生服は、オープンプライス定価を自由に設定)のものも多く、定価を高く設定して、値引きを多くしたように見せる方法を取っているお店の中にはあります。

非常にお買い得に見える学生服は、このようなからくりになっている場合がありますのでご注意ください。

大手メーカーのある程度値段の高い学生服(三万円台後半)は、どの学生服もしっかり作ってあり品質もしっかりしていて、三年間の耐久性を

考えるのでしたらこの辺の価格帯の学生服がお勧めです。

(メーカーにこだわらないのであれば、もっと安い学生服もあります)

さて、それではここからは、ウールの混紡率についてご説明いたします。

ウールの混紡率による学生服の種類

男子学生服の表生地は、ウールの混紡率によって種類が分かれていま
す。

ウール百パーセントの生地からポリエステル百パーセントの生地まで細か
く種類が分かれていて、一般的には、ウールの混紡率の高い学生服が値段
も高くなります。

ただ、これには条件があつて、同じメーカーの同じ種類の学生服を比べた場合に限ります。

たとえば、同じメーカーで同一種の「ウール五〇%・ポリエステル五〇%」の学生服と「ウール二〇%・ポリエステル八〇%」の二着の学生服があつたとします。

これら二着の学生服は、当然ウール五〇%の学生服の方の値段が高くなります。

耐久性だけを比べると、ポリエステル二〇%の方が多少良くなりますが、そのかわり、風合いや肌触りはウール五〇%の方が良いので、何を基準に選ぶかによつて判断しなければなりません。

メーカーが違う学生服で、ウールの混紡率が同じ学生服を比べた場合は、生地の種類が違う可能性が大きいので、値段や耐久性、縫製、肌ざわり、さえも違ってくるのが考えられます。

したがって、単にウールの混紡率が高いからといって、けっして良い学生服とはかぎらないのです。

ウールの混紡率だけを見て判断するのはやめましょう。

それでは、次に生地のストレッチ(のびのび)について述べてみたいと思います。

学生服の表生地には、大きく分けてストレッチの生地と、まったく伸び

ない生地の種類があります。

大手メーカーで作っている学生服は、このストレッチをきかせたき生地が多く、最近では主流になってきています。（生地によってストレッチの割合は違います。）

動きの激しい男の子では、なくてはならない素材ですね。しかしストレッチでない生地を使った学生服も市場に出ていますので、この辺も確認してみましよう。

入学のときに選ぶ学生服は、かなり大き目を購入しますので、ストレッチ生地の学生服も、ストレッチ生地でない学生服も、最初はそれほど着た感じは変わりありません。

しかし体が大きくなり、学生服がフィットしはじめると、その違いが徐々に分かってきます。

動きの激しい男子の場合は、このストレッチ生地以学生服がお勧めです。

生地の確認方法はきわめて簡単です。

生地を引っ張ってみるだけです。

生地見本がお店から届いていたら確認してみましょつ。

それでは表生地の事はこのくらいにして、学生服の裏地の事に話を移します。

学生服の裏地

この裏地といつのは何のために付いているのでしょうか？

一番の目的は、**着やすさ**、**脱ぎやすさ**の為です。

つまり、脱着のさいにすべりを良くするために付けてあります。

また、この裏地が付いている事により、保温性が高くなるという長所もあります。

学生服の裏地にも種類が沢山あり、その種類によって着やすさ、脱ぎやすさが変わってきます。

これは見ただけでは分かりませんので、実際に試着してみるのが一番良

いでしょう。

試着したときに、すんなり腕が通らなかつたり、脱ぐときに裏地がまとわり付いてくるような裏地は、静電気防止の加工が施されていない場合や、裏地にタック等の余裕を持たせていない場合があります。

すべりの良い裏地を使っているか、タックが入っているかどうかを確認してみてください。（タックとは、表生地が伸びた時にその伸びに応じて裏地も対応できるように要所で折込みを入れてあることを言います）

最近の学生服の裏地は、紳士服の背広のように、半裏パイピング加工（背中の部分の裏地がなく、裏地のカットされた部分がテープできれいに

処置してあるの物が多く、背中全面に裏地を付けてある総裏の学生服はひじょうに少なくなりました。

半裏パイピング加工されている学生服は、見た目も美しく、洗濯後の乾きが早いのも特長です。

それに比べ、総裏の学生服は、背中の部分が全て裏地で隠れている為に洗濯後の乾きが少し遅いという短所があります。

総裏学生服の長所としては、半裏の学生服よりも多少暖かいということになります。

一般的には、半裏パイピング加工の学生服の方が、手間がかかっており高級学生服と言えます。

この辺は、好みでお選び下さい。
(全国的に総裏の学生服はひじょうに
少なくなっていますが、地方によっては
多く出回っている所もあります)

肩パット

肩パットの種類も色々あります。

一番単純な物は、スポンジパットといって、スポンジのようなものを肩パッ



トの形に切って使っているものから、形状記憶を施してある肩パットや、形状記憶合金をパットに合体させたような高級なものまでさまざまです。

肩パットの役割は、見た目の美しさもさることながら、**型崩れの防止**にも大きく関わってきます。

しっかりしたパットを使っていない学生服は、何回か洗濯をしているうちに肩崩れを起こす心配があります。

新しく一年生になるときに買う学生服は、子供さんの成長を考えて**一般的に三サイズ〜四サイズ大きいものを購入する方が多い**ので、肩パットの役割はひじょうに大切です。

ところが三サイズ〜四サイズ大きい学生服は、当然学生服の肩の部分が、実際の肩より大きくはみ出すことになります。

その為、しっかりした肩パットを使っていない学生服では、その肩の部分が下にへたってしまい、見た目がよくありません。

肩パットは、親指と人差し指でつまんでみて、弾力のある肩パットかどうかを確認してみましょう。

この辺も比べてみると差を感じられるはずです。

肩パットも学生服を選ぶ重要なポイントといえます。

学生服のカラー

学生服といえば、襟に硬いプラスチックの板のようなものがついているのがあたりまえでした。

しかし最近では、襟の最上部に白いウレタン樹脂を縫い付けて、学生服を着てしまうと、まるでカラーが付いているように見える学生服が日本全国で広まってきました。

地域により、ばらつきがありますが、取り入れている地域では、ほぼ百パーセントこの学生服を着ている学生もいるほどです。

この学生服は、襟の高さが従来の学生服よりも低く、カギホックも一つ

しかない為、首の前後の動きが楽なのと襟全体が柔らかいのが特長です。

このカラーなし学生服は、大手のメーカーならどこでも作っているので、興味のある方は小売店で聞いてみましょう。



しかし、先ほども言いましたように、学校によって選択肢の一つに選べる所と選べない所がありますので、学校に問い合わせる事も必要です。

私の住んでいる静岡市でも、学校でこのタイプの学生服の事を認識しているのはまだ半分くらいで、残りの半分は、まだ認識不足のためか選択肢

の一つとして選べるようにはなっておりません。

これは小売店の宣伝不足もありますので、入学する予定の学校に小売店のほうから働きかけてもらうのも一つの方法かもしれませんね。

子供さんが首の窮屈感を嫌うようでしたら、このカラーなし学生服があるという事を覚えておきましょう。

下記の写真のように、前後の首の動きも

楽なのが特長です。



カラーなし学生服が学校で許可になっても

着ている子がごく少数ですと、いじめの心配もありますので

何人かまとまってこの学生服を購入するののも一つの方法です。

周りの人がどんな学生服を着ているのかを確認してから購入いたしましょう。

第一章のまとめ

お店を選ぶポイント

取り扱いメーカーの確認を取りましょう

そのお店で購入したお客様の反応を聞きましょう

アフターサービスの質を確認しましょう。

学生服選びのポイント

耐久性

学生服の裏芯地が両面張ってある学生服は丈夫。

四大メーカーの主力学生服は丈夫に出来ている。

安い学生服は、見えないところで手間を省いている。

値段

3万円円台後半の学生服が比較的多く出回っている

オープンプライス定価が決まっていないの学生服は、価格を高め

して割安感を出しているところもある。

同じメーカーの同一商品なら、ウールの混紡率が高いほど値段も高

くなる

裏地と肩パット

裏地は、半裏パイピング加工の高級仕立てと総裏の2種類がある。

裏地は、すべりの良い裏地ほど着やすく脱ぎやすい

裏地にタックを施してあるものは動きやすい

肩パットは弾力性のある物ほど型崩れしにくく、見た目も良い

確認方法は、指でつまむとよく分かる。

生地ストレッチ製

今の学生服は、ストレッチをきかせた、のびのびの生地の物が主流と
なっている

確認方法は、生地を引っ張れば簡単に分かる。

カラーなし学生服

最近では、襟にカラーの付いていない学生服に人気が出ている。

カラーなし学生服は、学校によって選択肢の一つに選べる所とそうでないところがある

小売店に働きかけてもらい許可をもらうのも一つの方法である

第2章 基本編・・・予約時期と採寸時期

最近は少子化に伴い、学生服の販売競争は熾烈を極めています。

地域によって多少の違いはあると思いますが、予約販売のところが非常に多くなりました。

小学校六年生の夏前頃から、小売店から資料が届き、販売員が、家にまでセールスにくるところも多いようです。

予約販売は、生活者にとってメリットも多く、「いついつまでに予約してくれば何々をサービスしますよ」、「とか」「何円引きにしますよ」、「といったようなサービス合戦が繰り広げられ、多くの利用者があります。

このサービスは、購入する側にとってはとてもうれしい事なのですが、この甘い言葉に惑わされるのは

ちょっと待ってください。

学生服というのは、どこでも売っている商品ではなく、季節商品のため値段の付け方が統一されているわけではありません。

先ほども述べましたが、値引きが多いからと、すぐに購入店を決めるのは、やめましょう。

実際に一度学生服を見学し、今まで書かれていた事等を確認することを勧めたいします。

しかし、信頼しているお店の場合は、そのかぎりではありません。

さて、予約の時期ですが、これはいつが適正かということはありません。

学生服のチラシやパンフレットである程度値段などを研究し、夏のうちに何店舗かの学生服を見学し、納得する学生服だという事を確認してあればいつ予約しても良いでしょう。

もちろんお店の対応も確認して下さいね。

以前買った事のある人に、そのお店や商品の評判を聞いてみるのも一つの方法です。

予約したからといって、購入しなければならぬ義務はありませんので、転勤や転校のように状況が変わったら、遠慮なくキャンセルいたしましょう。

さて、採寸時期ですが、これは注意が必要です。

個人差はありますが、男子の場合は身長が伸びるのが非常に早く、**あまり早く採寸するのは考えものです。**

一般的には、2月頃に採寸するのが良いでしょう。

学生服にはA体(標準体型)とB体(肥満体型)があり、ほとんどの方がこのどちらかに当てはまります。

まれに当てはまらない方がいらっしゃいます。(細くて背の高い方・背が低く体重の多い方)

そのような方は、別注で作らなければいけませんので、納品の2ヶ月以上前の採寸が必要になってきます。特殊サイズの方は充分ご注意ください。

第3章 ささまざまなトラブルと対処法

学生服に限らず、買い物にはトラブルがつきものです。

できればトラブルには巻き込まれたくないと思いがちですが、この章では、私が今まで聞いてきたトラブルを一つ一つ上げ、それに対する対処法を書いてみます。

納品された学生服のサイズがイメージと違っていた

納品時に一番多いのがこのトラブルです。

先ほども書きましたが、採寸時期が早すぎるとこのトラブルになる可能性

があります。

地域によっても違いますが、最近では小売店がお客様の自宅まで採寸に出かける、いわゆる出張採寸のお店が多くなりました。

出張採寸の場合、一日に測れる人数も限られてくるために、多く売ってお店はどうしても、二月・三月では測りきれなくて、前年の十二月や十一月に測らざるを得なくなる場合が出てきます。

この場合、納品時期までの間があき過ぎてしまい、その間に身長が伸び、イメージと違ったサイズになってしまう場合があります。

「そんな」と思われるでしょうが、子供さんの成長はけっけっ早いのです。

お店によって採寸時期が違うと思いますが、できれば採寸は年を越してからにいたしましょう。

学生服の袖詰や、ズボンの丈詰などをしてある場合には、間際になって交換してもらおうとすると、入学式に間に合わない場合があります。

納品されたら出来るだけ早く試着してみる事が大切です。

この辺も覚えておいてください。

それから、ズボンの採寸のときの注意事項ですが、最近の中学生は、男女を問わず、ほとんど体操ズボンを下に履いていくので、それを計算して採寸しないと、すぐにウエストが小さくなってしまいます。

入学する中学校の短パン、あるいはハーフパンツをはいて採寸するのが理

想です。ない場合には小学校で使っている短パンをはいて測りましょう。

(学校によってズボンの下に短パンを履くのを禁止している所もありますので確認はして下さいね)

最近では特に大き目を選ぶ方が多く、短パンをはいた状態で、ウエストの空いた隙間にこぶしを横に一つ入るくらいのゆるみのあるくらいのサイズを選ぶ方が多くなりました。

このくらいのサイズが、大きいのを選ぶ限界で、あまり大き過ぎるウエストサイズを選んだ場合は、ベルトで絞めた時にウエストにたるみがたくさん出来てしまい見た目がよくありません。

大きいのも「ほどほどに」という事ですね。

納品後にもらい物があつたのでそちらを使いたい

ズボンの場合は、ほとんどの方が丈詰めをしますので、お直し後の返品は難しいかもしれません。(お直しをしてしまった後の返品は無理と考えて下さい)

上着や、Yシャツその他の商品に付きましては、お店によって対応が違つと思つたので、転勤に伴う転校などの心配がある方は、前もって予約時にお店の対応を確認しておいたほうが良いでしよう。

既製品のキャンセルは、ほとんどの店で受け付けてくれると思つた。

洗濯したらすぐにほつれてしまった

上着は、どの学生服もかなりしっかり作ってありますので、すぐに縫い目がほつれてしまうような学生服は苦情対象になります。そんな場合はすぐに買ったお店に言って新品と交換してもらいましょう。

ズボンの下のほつれは、裾上げの為に縫ってある糸が1ヶ所切れて、そこに足の指を入れてしまうと全部がほつれてしまいますので、気がついたら糸で縫いましょう。

裾上げテープを使う人がいますが、身長が伸びて丈を伸ばしたいときにうまく裾上げテープがはがれない場合がありますので、できれば糸で縫

ってください。自分で出来ない場合は買ったお店に頼みましょう。(有料・無料はお店によって違います。)

撥水加工が長続きしない

撥水加工というのは、一年くらいすると、少しずつ効果が薄れてきます。

撥水の効果がなくなってきた場合はクレーム対象になりません。

説明時に「撥水効果は三年間変わりません」と言われた場合は別です
けごー！

撥水加工のことで少し付け加えると、この撥水というものと防水というものは、まったく別物という事を覚えておきましょう。

一般的に衣類には撥水加工、傘やレインコート、それに常に水にさらされるような物には防水加工が施されています。

つまり撥水加工とは、少しくらいの雨や汚れなら弾いてくれますよというだけのものなのです。

土砂降りの雨では効果を発揮いたしませんので、きちんと雨対策をして下さい。

ずぶぬれになった場合には、制服が乾いた時に汚れが浮き出て目立ち

ますので、丸洗いをしてしまったほうが無難です。

今の男子学生服は、ほとんどがご自宅の洗濯機で丸洗いが可能ですから、汚れてきたと思ったら洗濯をいたしましょう。

まれに洗えない学生服（ウールー〇〇％の学生服）もありますので、購入時には確認して下さいね。

洗濯方法は次の章で詳しく書かせていただきます

これで、小売店や自宅でのトラブルに対する対処法を終わりますが、とにかくご自分が納得しないような事は、一度販売店に相談してみる事です。意外と取り越し苦労だったという事もありますので、まずは相談、これが解決の糸口です。

第4章 1 ご自宅での洗濯方法

詰襟学生服の洗濯方法

出回っているほとんどの学生服は、自宅の洗濯機で丸洗いが出来ますが、ウール百パーセントの学生服は、ほとんどが自宅での丸洗いが出来ません。

丸洗いが出来るかどうかは、制服の内側に付いている洗濯ラベル(ケアラベル)で確認いたしましょう。

洗濯機マークが付いていれば自宅の洗濯機で丸洗いが出来ます。

それでは洗濯の際の注意事項です。

一・制服は制服だけの単品で洗いましょう

他のものと一緒に洗ってしまうと、他の衣類の繊維やゴミが付着してしまい目立ちますので、単体で洗ってください。

特に繊維の細かい物 靴下や起毛類の衣類と一緒にには洗わないで下さい。

二・ポケットの中は空っぽに

ポケットの中にティッシュなどが入っていると、それが洗濯機の中で細かくちぎれ、学生服に付着して後で取るのに大変です。

ポケットの中は、カラにして洗濯いたしましょう。

三・前ボタンを外しましょう

裏ボタンで前ボタンを止めてある学生服は、ボタンを外してから洗濯いたしましょう。(簡単にはずれます)

これは、ボタンが洗濯機に当たって「ボタン表面の金メッキがはげないよう」にする為です。

袖のボタンは糸で縫ってあり簡単に外れませんので、袖口をひっくり返し裏地を見えるようにして洗えば洗濯機に当たってはげる事はありません。

ボタンを外すのが面倒な方は、学生服自体を裏返して、網に入れて洗えばボタンがはげにくくなります。

四・全体を軽くブラッシングしてホコリを落とします。

これは特に神経質になる必要はありませんが、洗濯機の中で汚れおちをよくするための一つの方法とお考え下さい。

五・脱水は軽めに

全自動の場合は最後まで脱水がかかってしまいます。

それでも学生服によってはシワになりませんが、できれば最後の脱水だけは脱水時間を十五秒以内にいたしましょう。

その方が乾いた時に、ほとんどシワが気にならず、洗濯前と同じような出来あがりになるはずです。

脱水後は、ただちにしわを伸ばし太目のりガーで干してください。
洗濯機の中に入れっぱなしにすると、しわになりやすくなります。

乾燥機は、型崩れの原因になりますので絶対にしないようにいたしま
しょう。

学生服は種類によってシワのなり方が違います。

上級生の親御さんに聞いてみるのも参考になります。

第5章 番外編 覚えておくと便利な事

襟章バッチの付け方

学生服によってバッチを付けるための穴のあける位置が多少異なりますが基本的には、襟の端から一・五cm〜二・二cm位の場所が開ける位置です。

襟の端には金具が入っていて、穴をあける位置に金具にも穴があいています。

指でなぞると分かりますが、分かりにくかったら、その近辺を針で刺してみましよう。針の通る所が穴をあける位置です。

場所が分かったら、そこに「きり等」で少し大きめの穴を開け、バッチを



付けてください。

ベルトの長さの調整

ベルトのバックル(金具の所)の上の位置(写真参照)を人差し指と中指で持ち上げるとカチツと留め金
が外れますので、そこからベルト本体を外し
好みの長さにハサミで切ってください。
後は、先ほどと逆の手順でベルト本体をはめて、
金具をおろせば出来上がりです。

長さを調節する時は、ベルトにあいている穴の一



番内側の穴にあわせるように切ってください。これはウエストが太った時に、穴をずらす事ができるようにする為です。

学生服の袖を長くする方法

まずは、袖に付いているボタンの糸を切りボタンを全部取りはずします。

次に、袖の裏地を内側に引っ張り、縫い目の糸を出します。その糸を、はさみで切って抜いてください。すると内側に織り込んであった部分が三センチほど出てきて、袖だし完了です。

最後に、さきほど取り外したボタンを取り付け



てください。

袖出し方法は、学生服によって多少異なる点があるかもしれませんが。販売店で確認してくださいね。

男子学生服のお直し可能な箇所

上着の袖出し・袖詰

上着の袖の付け替え、襟の付け替え

上着の襟金具の取り替え

ズボンのウエスト出し、ウエスト詰め

ズボンの丈出し、丈詰め

穴あき(小さめ)修理



一般的に、男子学生服はこのようなお直しが出来ますが、お店によって多少異なるかもしれませんので、修理を頼む前に、お店に確認してみてください。

最後に（お客様の素朴な疑問）

「私の所に学生服の資料が送られてくるのは、どうしてですか？」
という素朴な質問を時々いただきます。

塾や家庭教師などの勧誘も同じような事が言えるのですが、市役所等で住民票

の閲覧をし、小学校六年生のいるご自宅の住所を確認して資料を発送している所がほとんどです。

中には、名簿屋と言われている業者から購入している所もあります。ほとんどが合法的に取得していますので、違法性はありません。

しかし、個人情報保護条例の施行により、平成十八年頃より市役所での住民票の閲覧が全国的に出来なくなりましたので、今後は、今までのように個人的に業者からの資料が届きにくくなっています。

しつこい勧誘が、今後行なわれにくくなるという面では、生活者にとってはうれしい状況だと思います。

しかしその反面、ほしい情報が届かなくなり、販売している店さえも分からなくなってくる事も考えられます。

販売店が、学校の校門の前で資料を配るような光景も増えてくるでしょう。地域によっては、小学校で業者の資料を配布している所もあるようです。

(この方法が理想的ですが、まだほんの一部の学校で行われておりません)

もし、あなたが将来中学へ入学する子供さんをお持ちでしたら、早いうちに学生服の情報収集をしておいたほうがいいかもしれません。

特に学生服は販売しているところが少ないので、売っている所くらいは確認しておきましょう。

そして、今までのように資料が届くのを待っているのではなく、自らが資料請求をして値段やサービスの比較をしてみる事が大切になってきます。

資料請求の時期は、子供さんが六年生になってしばらくしてからが理想です。あまり遅い時期の請求ですと、予約時期のサービスが過ぎてしまい特典を得られない場合があるからです。

時代はどんどん変化いたしております。

是非時代に乗遅れないよう新しい情報をつかんでください。

以上で私がお伝えしたい学生服の情報はおしまいでございます。

最後までお付き合い頂きありがとうございました。

あとがき

以上、第一章から第五章まで長々と書かせていただきましたが最後までお付き合い頂きありがとうございます。

いろいろと生意気な事も書きましたが、私が二〇年以上の経験から得た事や、お客様のご意見も色々と使わせていただきました。

私に、多くの気づきを与えていただきました皆様、心より感謝いたします。

ご縁があつてこの本を読んいただきましたあなた様が、この本の中から一つでも得ていただくものがあれば、こんなにうれしい事はございません。

学生服は、一度買ったなら子供さんは三年間着なければなりません。

大切な子供さんが三年間着る服は、子供さんにとっても親御さんにとっても、とても重要な意味があると思います。

より良い学生服、より良い小売店にあなた様がめぐり合えますよう心よりお祈り申し上げます。

著者 あなたの為の学生服アドバイザー 有田仁志

学生服のアリタ 店舗紹介

住所：静岡市葵区田町三丁目四七 八

(西部公民館となり)

電話：〇五四 二五三 二四六二

FAX：〇五四 二五三 二四六七

代表：有田仁志

学生服のアリタでは、この小雑誌【失敗しない学生服の選び方】に基づいたお店作りをしております。学生服の見学はもちろん、試着もできるお店です。お気軽にお立ちお寄り下さい。

地図は次ページをご覧ください。



学生服のアリタの五つのお約束

- 一 当店より電話勧誘や訪問勧誘は一切行いません。
- 一 ご希望のお客様には、こちらより採寸や配達に伺います。
- 一 クレームの出るような商品はお勧め致しません。
- 一 一件一件のお客様を三年間大切に致します。
- 一 学生服の見学やご説明の際、お名前を聞くことはいたしません。

